

年月日	2020年11月14日	キックオフ	13時00分	場所	長良川球技マドウ	先蹴	IPU	天候	晴	グラウンド状態	良好
レフリー氏名	阪本 浩助(関西協会)		AR氏名	飯田 真治(関西協会)		高木 健太郎(関西協会)		玉置 祐斗(関西協会)			

チーム名	朝日大学	29	12 17	前半 後半	10 0	10	IPU環太平洋大学	チーム名
------	------	----	----------	----------	---------	----	-----------	------

40分ハーフ

朝日大学			対	IPU環太平洋大学		
1	金城 由雅	3	FW	1	児島 佑弥	2
2	菅野 大輝	4		2	岡本 星太	4
③	宮田 賢斗	4		5	ショーン・ウィツ	1
4	原 拓人	3		4	豊里 陸	3
5	イオスア・ソウソウ	4		3	堀野 雄生	4
6	富安 健吾	4		6	三宅 凌雅	3
7	吉田 真亜敏	4		7	難波 和月	4
8	山本 武史	3		8	ティエナン・コステリー	2
9	志自岐 直人	4		9	西岡 寛太	3
10	柏谷 優次	4		⑩	新里 光希	4
11	フスバコム・ヒーラナツ	2	TB	11	遠山 裕也	2
12	世古 有為	4		12	石堂 嵩明	2
13	ティモ・フィティスフィア	4		13	マイカ・ナシラシラ	2
14	前田 太一	2	リザーブ	14	増山 豪太郎	2
15	永野 拓也	4		15	上村 龍斗	1
16	笹本 翔也	2		16	三木 淳平	1
17	羽田 昂生	1		17	江原 翔太	3
18	岩崎 勇樹	2		18	北谷 康晴	1
19	シオネ・アフエムイ	3		19	香川 将輝	4
20	平田 永遠	2		20	生田 隼斗	1
21	村松 哲平	4		21	阿部 喜哉	2
22	オセア・ナトガ	1		22	岩佐 拓郎	1
23	江藤 岳	2		23	犬飼 慎一郎	2

前半 得点経過			
前半	チーム名	得点に至った概要	得点経過 朝日大学 IPU環太平洋大学
12	IPU	⑩トライ、⑩ゴール○	0 7
18	朝日	⑬トライ、⑩ゴール×	5 0
24	IPU	⑩PG成功	0 3
37	朝日	⑧トライ、⑩ゴール○	7 0
前半合計			12 10

経過	記号	背番号	経過	記号	背番号
後11	△	5 → 19	後11	△	5 → 19
後11	△	11 → 22	後11	△	9 → 21
後17	△	9 → 21	後16	△	4 → 20
後28	△	6 → 20	後21	△	1 → 17
後30	△	22 → 23	後21	△	2 → 16
後31	△	2 → 16	後28	×	16 → 1
後38	△	1 → 17	後40	△	15 → 23
後38	△	3 → 18			

△…入替選手 ×…負傷交代選手 ○…出血時一時交代選手

得点

前半	後半		前半	後半
2	3	T	1	0
1	1	G	1	0
0	0	PG	1	0
0	0	DG	0	0
12	17	計	10	0
29		合計	10	

反則

PK	FK		PK	FK
7	1	前半	11	1
4	0	後半	9	0
11	1	合計	20	1

カード

種別	チーム名	背番号	時間	内容

後半 得点経過			
後半	チーム名	得点に至った概要	得点経過 朝日大学 IPU環太平洋大学
7	朝日	⑩トライ、⑩ゴール○	7 0
26	朝日	②トライ、⑩ゴール×	5 0
37	朝日	⑧トライ、⑩ゴール×	5 0
後半合計			17 0
観客人数	300名		レフリーサイン欄
記録責任者氏名	安中 裕勝		
チーム	チーム名	朝日大学	氏名
記録係	チーム名	IPU環太平洋大学	氏名

(注) I. 交代・入替選手の記入について。下記の記号で記入のこと。

また、氏名は記入せず背番号のみ記入のこと。

△…入替選手 ×…負傷交代選手 ○…出血時一時交代選手

II. 必ず、主将に○印

III. メンバー欄()に社会人は年令、学生は学年を記入のこと

第57回全国大学ラグビーフットボール選手権大会東海・北陸・中国・四国代表決定戦
マッチリポート

2020年11月14日(土) 試合会場：岐阜長良川球技メドウ
キックオフ13:00 対戦カード 朝日大学 対 環太平洋大学
レフリー：阪本浩助(関西) AR：飯田真治(関西)高木健太郎(関西)玉置祐斗(関西)

朝日大学は、東海学生ラグビーリーグ最終戦を36-15(前半17-8後半19-7)
(11月8日パロマ瑞穂ラグビー場)で中京大学に勝利し、7戦全勝でリーグ11連覇を達成、全国大学選手権へつながる東海・北陸-中国・四国代表決定戦への出場を決めた。

ここ岐阜県長良川球技メドウは、3大会連続の開催地となった。岐阜メモリアルセンターという県立の施設で、金華山のふもとに位置し、近くには、鶺鴒いで有名な長良川が流れています。ラグビー、サッカー専用の天然芝のグラウンドは、今年も最良のコンディションです。西の風6mが攻守に影響すると思われます。

中国・四国代表は、環太平洋大学(岡山)、3年連続の出場となった。

快晴、気温18度、風速6mの中、環太平洋大学のキックオフで始まった前半
12分、環太平洋大は、自陣より左へ展開、11番遠山裕也がおよそ70メートルを走り切ってトライ(0-5)ゴール成功(0-7)

18分朝日大、敵陣左15m付近ラインアウトより、モール、ラックを押し込み、左へ展開、13番ティモ・フィティスフィアがトライ(5-7)ゴール不成功。

24分、環太平洋大、ゴール前中央30m付近PG成功(5-10)キッカー10番新里光希

38分朝日大、ゴール前左15m付近ラインアウトよりモールを押し込み、8番山本武史がトライ(10-10)ゴール成功(12-10) 前半終了

後半、朝日大のキックオフ、

9分、朝日大、ゴール前右中間5m付近PKより、スクラムを選択、押し込んで、8番→11番プスパコム・ピーラナツがトライ(17-10)ゴール成功(19-10)

13分環太平洋大 5番アウト19番イン、9番アウト21番イン
朝日大 5番アウト19番イン、11番アウト22番イン

19分環太平洋大 4番アウト20番イン

20分朝日大 9番アウト21番イン

25分環太平洋大 1番アウト17番イン、2番アウト16番イン

26分朝日大、自陣右中間20m付近スクラムを押し込んでPKを得て、右タッチキックより、モール、ラック繰り返しゴール前まで迫り、最後は2番菅野大輝がトライ（24-10）ゴール不成功

36分朝日大学22番アウト23番イン

42分朝日大、ゴール前右中間5m付近PKよりスクラムを選択、押し込んで、スクラムトライ、8番山本武史（29-10）ゴール不成功

46分環太平洋大 15番アウト23番イン

試合終了

後半開始から、環太平洋大は、中央付近ラインアウトよりモール、ラックを繰り返し、15フェーズでターンオーバーされるまで粘り強い攻撃を見せた。

朝日大は、スクラムで完全に優位に立ち、確実にトライに結び付けていった。終了間際のスクラムトライは、理想的なトライであった。

29-10（前半12-10後半17-0）と朝日大学が環太平洋大学に勝利した。

朝日大学は、9年連続9回目の大学選手権出場を決めた。第57回全国大学ラグビーフットボール選手権大会の2回戦、東北・北海道代表と九州代表の勝者と、11月29日、パロマ瑞穂ラグビー場で対戦する。

文責 岐阜県ラグビーフットボール協会
副理事長 服部 政行